

# 長野県で進めている地域リーダー（長野県林業士）の育成

長野県林業総合センター

長野県では、昭和48年度から「地域林業のリーダー」である「長野県林業士」を育成。林業総合センターで育成のための研修を実施し、令和2年度までに552名が認定されている。

## 長野県林業士の理念

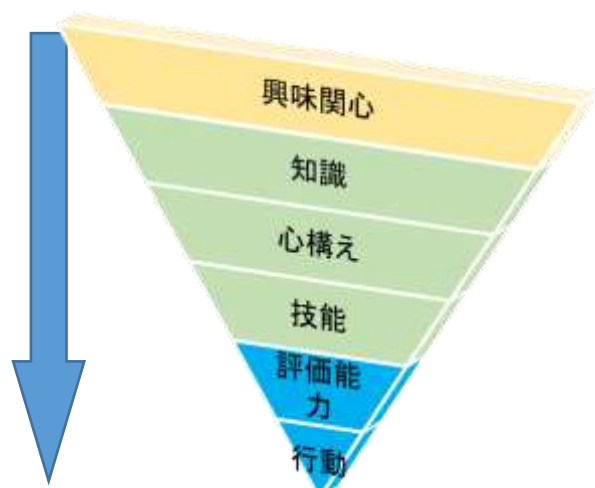
自らが関わる山村地域で、経済社会の変化に対応しながら、林業者としての生産活動と生活を自ずから選択・拡大しうる能力を持ったもので、林業従事者だけでなく地域住民も巻き込んで森林・林業を核とした「新しい林業」の姿を実現できる人

## そのための研修体系

地域で実際に行動に移せる人材を育てるため、段階を踏んだステップアップ方式。

1年目に30日間の「森林林業セミナー」（知識・心構え・技能を学ぶ）

2年目に16日間の「林業士入門講座」（評価する能力・行動するための意識を高める）



森林教室 興味関心を生むことを目的（一般向け）

森林林業セミナー 基本的な知識と技能を得る

森林を取り扱う上での知識と心構えを認識  
基本的な技術を身につける

林業士入門講座 実際に行動できる人材を育成する

地域で課題と人材を探し解決策を検討する  
修了後に行動することを意識づける

## 林業士入門講座で取組んでいること

先人に学ぶ  
（林業士会との連携）

- ・長年活躍している林業士から地域との関わり方を学ぶ
- ・新人林業士としての活動初めの取組を理解

社会の中で学ぶ  
（他地域との連携）

地域で生きるためのビジネス目線  
林業の枠を超えた地域内での異業種連携を進める視点を理解

山梨県での事例訪問

イベント及び・拠点施設を介した  
地域内での連携

市民とのつながりを学ぶ  
（県立図書館との連携）

地域住民とのコミュニケーション  
に必要な情報収集と関係構築を、  
図書館で実践

図書館の活用

書籍での情報の集積  
司書とのコミュニケーション

県内外の多様な機関との積極的な連携を図ることで、地域の中で活躍できる人材を育成